

## 「学校設定科目」届 (指導と評価の年間計画)

教科	科目	開設学年 (年次)	単位数	教材名等
公民	実用社会	3	2	整理と演習 完成ワーク社会 (増進堂)

到達目標 ※	①就職試験および就職後に必要な社会科の基礎知識を身につける。 ②労働三法や労働三権について理解する。
到達目標に向けて の具体的な取組 【指導上の留意点】	・確認テストは単元ごとに行い、成績に反映させるほか、授業の進度を考慮する一助とする。 ・単元ごとに課題提出を求め、理解度をチェックする。

月	単元・教材名	指導内容	評価方法	評価のポイント		
4	民主主義・日本国憲法 日本政治機構	過去の就職試験問題や 公務員試験問題に取り組み、 社会科の基礎知識を身につけ させる。 また、はたらく中で生じる権 利やそれにかかる問題事例な どを取り扱い、はたらく意義 を深めさせる。 そのほか、時事問題も取り組 み、世界情勢について理解さ せる。	確認テスト 定期考査 提出物 出席状況・授業態度	関心・意欲・態度 提出物 出席状況・授業態度		
5	国際社会・資本主義 国民経済・日本の経済					
6	貨幣・金融・財政 日本史					
7	世界史			思考・判断・表現 定期考査 小テスト		
8						
9	思想・社会・文化 日本地理・世界地理			技能 定期考査 小テスト		
10	一般常識					
11	労働・社会保障 労働法			知識・理解 定期考査 小テスト 提出物		
12	労働者の権利					
1	労働者の権利					
2						
3						

※学習指導要領に示された教科の目標をふまえて設定すること。

別紙様式3-①の(1)に記した「学校設定科目」について、科目ごとに作成すること。